

わたしたちの間の現在の危険に関して、  
メキシコの諸召会とすべての聖徒たちに対するの交わりと警告の手紙  
2009年1月

30年前に主の回復がメキシコに来て以来、七十七の召会が興され、四千人弱の聖徒たちがいます。これは、新約の務めのリーダーシップの下での一つ思いに対する主の祝福です。わたしたちは、これまでに主がなさったすべてのことに感謝しています。諸召会、働きにおける指導的立場にある者として、神の群れを牧養することにおけるわたしたちの責任は、育むこと、養うことだけではなく、必要に応じて時には警告のラッパを聖徒たちに吹き鳴らすことをも含みます。

エゼキエル 33:6：「しかし見守る者が、つるぎの臨むのを見ても、ラッパを吹かず、そのため民が、みずから警戒しないでいるうちに、つるぎが臨み、彼らの中のひとりを失うならば、その人は、自分の罪のために殺されるが、わたしはその血の責任を、見守る者の手に求める」。

使徒 20:26-31 前半：「ですからこの日、あなたがたに証しします。わたしはすべての人の血について清いのです。なぜならわたしは、あなたがたすべてに神のみこころを、しりごみすることなく言い表したからです。あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧させるのです。わたしが去った後、凶暴なおおかみどもがあなたがたの間に入って来て、羊の群れを容赦しないことを、わたしは知っています。また、あなたがた自身の間から、曲がった事柄を語って、弟子たちを引き離し、自分に従わせようとする者たちが起こるでしょう。こういうわけで、・・・・・・目を覚ましていなさい。」

メキシコの諸召会の指導的兄弟たちと同労者たちは、わたしたちの国の主の回復に最近影響を与え始めた深刻な問題について、すべての聖徒たちに交わらざるを得なくなりました。この問題は、かつては神の新約エコノミーの真理において、諸召会の交わりにおいて、主の回復と一であった一団の働き人たちから生じています。主の回復におけるこれらの基本的な事柄から、彼らは徐々に離れていってしまい、わたしたちは嘆き悲しんでいます。主の回復はウオッチマン・ニー兄弟、ウイトネス・リー兄弟の新約の務めを通してわたしたちにもたらされましたが、彼らはそこから異なったビジョンに基づいた異なった教えへと逸脱してしまいました。残念なことではありますが、彼らは分派的な実行を確立して、主がわたしたちの間で80年以上にもわたって確立して来た聖書的模範から逸脱してしまっただけです。しかしながら、彼らは今日における主の唯一の動きであると主張し、彼らの指導者を神のために語り、スペイン語世界での働きを導く権限を与えられた唯一の人物として売り込んでいます。彼らは主の回復の名の下に世界中の多くの国々で異なる働きを広めてきたという過去があり、そのために彼らが行ったところではどこでも混乱と分裂が生じました。分裂的な働き人たちが彼らの働きを広める意図を持ってメキシコにやってきましたので、この手紙でのわたしたちの交わりが必要なのです。ですからわたしたちは、わたしたちにやってきたこの問題にどのように直面すべきか、あなたがたすべてに交わるべきなのです。

わたしたちは、南米からきたドン・ユー・ランと彼の同労者たちの働きについて語っています。リー兄弟を含む主の回復の同労者たちは、長年にわたってドン兄弟と彼の同労者たちに忍耐してきましたので、聖徒たちはこの働きによって引き起こされた問題についてお気づきでないかもしれません。実のところ、ドン兄弟と彼の同労者たちは、異なる出版と、誤った教えと実行を多く用いて、異なる務めを広めているのです。同時に、彼らは大胆にも彼らの務めと働きの優位性を宣言し、すでに存在している主の回復の諸召会や聖徒たちを尊重することなく、彼らの異議を唱える働きを広めています。彼らはすでに召会が存在している地方において別の集会を設立することさえしてきました。一方で、これはわたしたち全員を悲しませる悲劇です。もう一方で、わたしたちは驚いたり恐れたりするべきではありません。主の回復の歴史においても、新約の召会の歴史においても、このことはまったく新しいことではないからです。使徒パウロはエペソの長老たちに対して、彼が去った後まさにこのことが起きるのだと警告しました。

また、あなたがた自身の間から、曲がった事柄を語って、弟子たちを引き離し、自分に従わせようとする者たちが起こるでしょう。（使徒 20:30）

この問題に適切な方法で向かうために、この逸脱の根源と、それがいかにしてメキシコに持ち込まれたか、その指導者たちがメキシコで将来何を計画しているのかを理解すべきです。

## 逸脱の根

1984年、リー兄弟はブラジルに行き、聖徒たちがライフスタディのメッセージを用いていることと、リー兄弟の語りかけの重要な点を把握する彼らの能力について、彼らを称賛しました。しかし、そのすぐあとに、ドン兄弟は独立した行動を取り始め、主の回復の内部で彼自身の務めと働きを設立しはじめました。逸脱の根源は、1985年に、彼がウオッチマン・ニー兄弟、ウイトネス・リー兄弟の務めを、それに対する彼自身の解き明かしに取って替えたときにさかのぼることができます。リー兄弟の初期の評価とは逆に、ドン兄弟の主張では、ラテンアメリカの聖徒たちにはウイトネス・リー兄弟が教える真理を理解することはできないので、ドン兄弟が彼らのためにウイトネス・リー兄弟の務めを消化し、解き明かすためにドン兄弟を必要があるのだとされています。ドン兄弟の主張はまったく根拠のないものです。ウイトネス・リー兄弟の務めは解き明かしや修正が必要なものではないことは、わたしたちの経験から明らかです。メキシコ中の聖徒たちは、新しく救われた人たちをも含めて、この務めによって啓示された高嶺の真理によって、大いに豊かにされてきています。ウオッチマン・ニー兄弟とウイトネス・リー兄弟による時代の務めは、世界中に広がって、多くの異なる文化、異なる教育水準の人々によって、理解され、評価され、実行されています。この務めは、都市部にも農村の村にも離島にも即したものです。どんな地域のどんな信者たちでも、ウオッチマン・ニー兄弟とウイトネス・リー兄弟の直接の、ろ過されていない言葉を受け取り、利益にあずかることができます。

リー兄弟は同労者たちを統制することはしませんでしたので、彼はドン・ユー・ランが彼の独立した働きをすることをやめさせはしませんでした。しかし、リー兄弟は、違反され続けていた霊的な原則をしばしば明るみにしました。彼はまた、これらの問題について直接特別に、彼のある同労者たち何名かに対して、より個人的な交わりにおいて語り、彼が

彼らの実行に同意しないことを明らかにしました。わたしたちなら誰でも一連の「長老訓練」という出版物の連続メッセージを読んで、主の回復において別の働きを遂行すること、彼の務めに混ぜ物をする、主の回復における複数の出版の危険性についてのリー兄弟の強い警告を理解することができます。彼はまた、自分自身の個人的な領域を、世界のほかの領域で労苦する同労者たちと切り離して保持する同労者すべてに対しても、強く反対して語っています。これらの実行は、分裂をもたらすと彼は言いました。これらのメッセージは1984年から1991年にかけて語られましたが、ドン兄弟もかれの同労者たちもそれに注意を払うことはしませんでした。リー兄弟が直接に率直に警告を与えたにもかかわらず、ドン兄弟は彼の出版の働きを拡大し、彼の偽りの権威を南アメリカの多くの諸召会に広げました。

ドン兄弟の働きは遠く離れた南アメリカで行なわれ、ほかの諸召会と大きく隔たりがあったため、回復の大半はそこで何が進行しているのか知りませんでした。リー兄弟と彼の同労者たちは、ドン兄弟と彼の同労者の中で変化があることを望みつつ、長い間忍耐しました。1997年にリー兄弟が主の下に行く前、ドン兄弟と彼の同労者たちは、スペイン語世界に適切でない手紙を配布して、深刻な問題を引き起こしました。主の回復全体の同労者たちがその内容について深刻な懸念を抱き始めたので、ドン兄弟と彼の同労者たちは彼らと一緒にスペイン語世界に対して、以下の通り書きました：

主の回復には、また全地にはただ一つの出版、すなわちウオッチマン・ニー兄弟とウイトネス・リー兄弟の著作の出版と頒布のみがあることにわたしたちは同意します。今日、ほかの出版は現れて競合すべきではなく、ましてやこの二人の主の僕の書籍と置き換わるべきではないことに、わたしたちは同意します。

しかしながら、ドン兄弟が彼自身の出版を推進するのを抑制するつもりがまったくないことがまもなく明らかになりました。むしろ彼はますます積極的に彼の務めと働きをアフリカ、ヨーロッパ、中米、北米に輸出するようになりました。この、主の回復における異質で競合的な務めが原因となって、地上における多くの個所の諸召会と聖徒たちに混乱と障壁をもたらされました。このような状況のゆえに、世界中の同労者たちは多くの祈りと交わりによって、彼らの集会でこの状況について語ることとなりました。そういうわけで、その問題に関する事実が主の回復のすべての同労者たちの知るところとなったのです。そのような交わりの中で、あるときメキシコの兄弟たちが、メキシコを含むほかの国々にドン兄弟の出版物が広まっていることをに関する彼らの懸念を表明しました。同労者たちの交わりをもとに、メキシコのある同労者がドン兄弟に対して、彼の出版物をメキシコに持ち込まないよう言いました。

2005年、地上におけるすべての地域の主の動きを代表する同労者たちが、ドン兄弟に愛の中で手紙を書いて、教え、働き、実行における彼の逸脱と、彼の働きによって引き起こされている混乱と分裂についての彼らの懸念を厳粛に表明しました。彼らは、主の回復における働きを遂行するにあたって、ドン兄弟が自粛してウオッチマン・ニー兄弟とウイトネス・リー兄弟の出版物だけを使うよう注意を促しました。メキシコのある同労者たちがその交わりにあずかり、その手紙の非常に厳粛な論調と内容を強く支持しました。彼らの手紙の中で、兄弟たちはドン兄弟に、主の回復における召会、務め、働きを支配する原則はキリストのからだであることを認めるように求めました：

現在の終わりの時に神が達成する必要があるのは、地上のすべての大陸、すべての国々にいる彼を愛するものたちを通してキリストのからだを建造することです。今

日、主の回復において、これがわたしたちの働きを制御するビジョンでなければなりません。もしそうでないなら、わたしたちはキリスト教の悲しむべき歴史を繰り返す、地上における神の目的をさらに邪魔することになってしまうでしょう。

その手紙の中で、ドン兄弟の出版物によって引き起こされた問題が率直に指摘されています：

キリストのからだに関するこの宇宙的な支配するビジョンのゆえに、わたしたちは今日の主の回復にあるわたしたちの間のある特定の問題——出版の働きについての事柄——について憂慮しています……もし異なった奉仕者による多くの出版があるならば……わたしたちの間に多くのリーダーシップが存在するという危険性があることははっきりしています。

さらに、その手紙の中で同労者たちは、多くの妨害の記録を受け取ったこと、ドン兄弟と彼の同労者たちの不健康な教えをあらわすメッセージの写しを読んだことを認めています。彼らの異なる語りかけは、回復訳が時代遅れのものとなるようなさらなる啓示をドン兄弟が受けたという主張を含みます。ドン兄弟の支障をきたす「新しい」啓示の一つは、マタイ、マルコ、ルカは、福音書が書かれた時にその霊の中にいなかったと断言します。同労者たちは、聖書やニー兄弟、リー兄弟の務めと矛盾するドン兄弟の教えについて多く言及した後、以下のように結論付けています：

実に、そのような語りかけは神の言葉に相反しており、信者たちを迷わせ、多くの意見の相違と分裂を巻き起こし、キリストのからだに害を与えます……あなたの務めと出版物の中にある誤った、異なった教えと語りかけは、神の言葉とは違っています。わたしたちはそのような語りかけを新約の務めの一部とみなすことはできません。

兄弟たちはそれから、ドン兄弟の教えと出版が世界中の諸召会で混乱と論争の原因となっていることを強調しています。兄弟たちは、ドン兄弟が原因となった問題を解決するため、主の回復における共通の務めに対して彼が対抗することをやめるよう、彼に懇願しています。ドン兄弟がその厳粛な交わりに耳を貸さなかったのは残念です。むしろ、ドン兄弟の働きに関する憂慮について彼に書き送ることによって、その同労者たちは聖霊に罪を犯す危険を、この時代においても、来るべき時代においても赦されない罪を犯す危険を背負ったのだといたしました。

過去数年来、ドン兄弟と彼の同労者たちはますます極端に走り、彼らは「最後の回復」と「有機的回復」であって、「法理的回復」に反対するものであると論じています。このように言うことによって彼らが意味するところとは、彼らはその霊にある現在の回復であり、その反対に諸召会はウオッチマン・ニーとウイットネス・リーの「法理的」な務めのもとに留まっているということです。彼らは「法理的」という言葉を、律法的で死んだ文字の中にあるという意味で使い、この用語を新約におけるパウロの務めとウオッチマン・ニー兄弟、ウイットネス・リー兄弟の務めに適用します。ですから、彼らは彼らの働きのもとにいない人々を「法理的回復」、彼らがそこを去っただけでなく主も同様にそこを去った段階とみなすのです。ブラジルの Piracicaba において持たれた 2007 年 9 月の特別集会で、ドン兄弟は彼の立場を表明しました：

しかしながらある人々は南米の諸召会が回復から逸脱してしまったと意図的に罪定

めしています・・・・・・彼らは、ブラジルにいるわたしたちが回復から離れたと主張しています。わたしはこれに対して次のように答えます。ブラジルにある諸召会は、聖霊の導きの下で、確かに「法理的回復」を離れたのです。

ですから、ドン兄弟は今日の主の回復に「法理的回復」と名づけ、離れ去るべきものとしているのです。

そのような教えは、ドン兄弟と彼の同労者たちの逸脱を反映しており、リーダーとそのビジョン、教え、実行を中心に形成される分派的な働きへと至ります。彼らは、自分たちの異議と分派を正直に言い表すのではなく、むしろ弟子たちを引き離すために、時には彼らが主の回復と共にあるかのようなふりをします。このような理由のため、メキシコのすべての聖徒たちはこの警告の手紙に注意を払い、いかなる「人の悪巧み」（エペソ 4:14）によっても欺かれないようにするのは重要です。

## メキシコで分裂を引き起こす

このような歴史からご理解いただける通り、わたしたちメキシコの兄弟たちはドン兄弟の異なった務めに長い間憂慮し、これらの教えからメキシコの諸召会を守るために、行動を起こす必要があるのです。2007年、カナダのロンドンで行なわれた特別集会で、ドン兄弟はメキシコにおける主の回復を次のように評しています：

たしかに聖書は人の住む全地に王国の福音が宣べ伝えられなければならないと言っています・・・・・・しかし今のところ、これが実行されているのは南米だけです・・・・・・メキシコでは、彼らが王国の福音について話しているのを聞いたことがありません。彼らは召会について話します。その召会とはまだ、召会にとっての召会の段階です。彼らはまだ、主がわたしたちを王国のために召会の中におかれたことを見ていません。彼らはまだこの光を持っていません。

最近、ドン兄弟の働きにおいて活発な兄弟が、就職目的でブラジルから Toluca に移住しました。

この若い兄弟は、メキシコ・シティの召会のいくつかの集会に来て、召会の交わりに受け入れられました。それからわたしたちは、ドン兄弟のところからほかの働き人たちが Toluca に来る計画であることを知りました。Toluca ではすでに召会としての主の食卓が始まっていました。ですからわたしたちは、2008年9月30日にドン兄弟と彼の同労者たちに手紙を書いて、Toluca において別の働きや別の集会を始めないように、すでに設立された諸召会や働き人たちとは別に、メキシコで働きを行なわないように言いました。さらに、彼らがドン兄弟の務めと出版物をメキシコに持ち込むべきではないことを繰り返し述べました：

メキシコにおいて、わたしたちが行なう事すべてにおいて、ブレンディングされた組み合わせられた方法によって共に労苦するために、わたしたちは多大な代価を払ってきました。・・・・・・どのような働き人であれ、この交わりと取り組みを評価せず、大切にもしない人がここに送り込まれて来るなら、わたしたちは間違いなく、非常に不快で、不愉快になるでしょう。

直ちに、ドン兄弟の主要な同労者の一人がわたしたちの手紙に返事して、次のように返事してきました：

・・・・・・わたしたちは、あなたがたが手紙で求めたことを受け入れることはできません。わたしたちは聖徒たちがどこにしようと、彼らを顧みる必要がありますし、そのようにするつもりです・・・・・・しかしわたしたちは、すでに召会があるところでは、別の集会を持つことはしません。

彼らが受け入れることを拒絶したのは、「この地方にいかなる働き人も送り込まないでください。このことについては、メキシコのすべての地方についてもそうですし、独立し、孤立した方法においてもそうです」というわたしたちの要求です。わたしたちの経験では、からだの交わりの中で遂行されている取り組みのある働きは、すべての聖徒たちを顧慮するという独特の方法であると立証されています。さらに、「わたしたちの聖徒たち」という用語は、ドン兄弟の分派的なはたらきを明らかにしています。いかなる働き、いかなる働き人であれ、聖徒たちが属しているということは、真理に反しているのです。聖徒たちは、言語、国籍、民族によって分けられるべきではありません。一人の新しい人としての召会においては、すべての天然的な区別は取り除かれ、キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。（コロサイ 3:10-11）。

ドン兄弟の働き人は、彼の返信の中で、メキシコの兄弟たちに約束して言いました、「しかしわたしたちは、すでに召会があるところでは、別の集会を持つことはしません」。この約束があるにもかかわらず、二ヶ月とたたないうちにドン兄弟の働き人たちのグループは Toluca の兄弟たちと結びついて、彼ら自身の集会を始めてしまいました。それが、彼らが「Toluca での最初の集会」と宣言したものです。彼らは Toluca におけるわたしたちの働きや、そこでの聖徒たちの集会について知らされていたので、彼らが設立した集会は、わたしたちの交わりを故意に無視し、分派ないし分裂を設立したものであるとしかみなすことはできません。

## メキシコにおけるドン・ユー・ランの働きに関するさらなる計画

2008年11月の中頃、ドン兄弟の働きをメキシコで広げるための全面的な活動がすでに計画されていることが、サンパウロで公に報告されました。報告した人物の話したところによれば、ドン兄弟の働き人たちはバン二台で、垂れ幕を百枚もって、働き人たちの複数のグループでメキシコに行くとのことでした。実際、二十五名以上の働き人が、この侵略的で計画的な活動を遂行してドン兄弟の分派的な働きをメキシコで広めるために、このメキシコに向かっている途中であることが、つい先週わたしたちに知らされたところです。

ドン・ユー・ランの働き人たちは、すでに召会が存在している、四カ国にまたがる三十以上もの都市で、第二の「主の食卓」を始めています。彼らがメキシコ中で同じことをするであろうことは間違いありません。

彼らが、しばしば彼らが主張するように、召会のない地方にだけ行ったとしても、彼らがすでに存在している諸召会や、働き人たちと何の交わりもなく働きを遂行しているという事実は、それ自体が分裂的なのです。リー兄弟はわたしたちに言いました：

わたしは、地方の立場に関する出版物を読んだある聖徒たちが、それを使って分裂を引き起した事実を言わなければならないことを残念に思います。ある人たちは、自分たちはある町で地方の立場を取っている、他の人たちとは交わりをしたくないと言いました。これは本当の分裂です。地方の立場は、一のためであって、分裂のためではありません。もしわたしたちが、地方の立場を他の信者から独立する根拠とするなら、わたしたちは分裂です。（ウイットネス・リー、キリストのからだとしての召会を建造するためにキリストを享受する、p.106）

## 団体的な応答への召し

状況の緊急性と、ドン兄弟の働きがすでにメキシコでの最初の分裂を引き起こしてしまっており、ドン兄弟が多く働き人をメキシコに送り込む計画であることのゆえに、わたしたちは一つ思いの中で立ち上がり、聖書の命令を守って、聖徒たちを分派的な集会と分裂的な働きから守るべきです。

ローマ 16:17 「さて兄弟たちよ、わたしはあなたがたに勧めます。あなたがたが学んできた教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、また彼らから離れ去りなさい。」

フットノート 2 「第 14 章で、パウロは教理や実行で異なっている人たちを受け入れることについては、寛容で寛大でした。しかしここでは、分派的であったり、分裂を引き起こしたり、つまずきの原因を作る者たちからは離れ去らなければならないと、断固として、決然と語っています。いずれの場合も、その目的はキリストのからだの一を守ることにあり、それは、わたしたちが正常な召会生活を持つためです。」

テトス 3:10 「分裂を引き起こす者には、一、二度訓戒した後、退けなさい。」

フットノート 2 「召会の良い秩序を維持するために、分裂を引き起こす者、分裂的な者は、一、二度訓戒した後、退けられ、拒絶されるべきです。これは召会の益のために、分裂的な者との交わりを断ち、その影響が広がるのを避けるためです。」

ですから、もしあなたがたのうちのだれであれドン・ユー・ラン兄弟の分裂的な働きを奨励するなら、わたしたちはその人たちと接触すべきではありませんし、彼らがわたしたちの家庭や集会に入ってくることを許すべきではありません。もう一方で、もしドン・ユー・ランの影響下にいる聖徒たちがあなたたちやメキシコの召会の集会を訪れるならば、その人たちをまず召会のおもだった兄弟たちのところに連れて行って、彼らの交わりと召会生活にあずかることが健康で光の中にあるようにするようわたしたちはお願いするので

。

メキシコの聖徒たち、諸召会、主の働きを守るためのこの警告の手紙を出すにあたって、キリストの中へと信じたすべての人たちをわたしたちは兄弟たち、またキリストのからだの肢体仲間であると認識していることを、すべての人たちに対して明確にしておこうと思います。またわたしたちは、ほかの人たちが福音を宣べ伝えたり、信者たちを建て上げたりすることにおいて分があることもわたしたちは認めています。彼らがキリストを宣べ伝えている限り、わたしたちは喜びます。しかしながら、わたしたちはローマ書第14章を実行してキリストが受け入れた人すべてを受け入れなければならないのとまったく同じように、ローマ書16章を実行して分裂の原因となる人を警戒しなくてはなりません。ですから、主の回復の中の兄弟姉妹に、ドン・ユー・ラン兄弟と彼の同労者、彼らの働きについての真の状況について警告する必要があるのです。

わたしたちは、あなたがたすべてが主の御前に出てこの警告について冷静に熟慮し、メキシコの諸召会における一の証しが守られるよう祈ることを求めます。

Antonio Serna H.

Jesús Flores Noriega

Rigoberto Rodríguez Nájera

Jaime Garcia

Jorge Camacho Acosta

Paul Hon

Mario Medina V.

Antonio Hernandez

Rafael Fernandez Garcia-Navas

Miguel Nájera

Martin Cruz

Ernesto Camacho

Alberto Loredó Briones

Jaime Palacios

Julio Alvarado Durán

Sterling Byassee